

I Love Churui

I ♥ ちゅうるい

7
2017 Vol. 506



平成29年度搾乳牛放牧技術研修会開催!!

平成29年度搾乳牛放牧技術研修会開催を忠類コミュニティセンター大ホールにて開催しました。放牧酪農家をはじめとした各関係機関が約70名程参加しました。



http://www.ja-churui.com

Contents

理事会 (第7回)	2
酪農部会女性視察研修	3
中国人研修生受入協議会研修会	
和牛改良組合管内視察研修	4
平成29年度小麦収穫終了	
畑作協議会灌漑視察研修	5
平成29年度搾乳牛放牧技術研修会	6
十勝農業改良普及センター南部支所	
普及センター技術情報	7
生乳生産状況表	8
JAグループ通信	9

JA共済 Vol.506 平成29年8月発行 発行 忠類農業協同組合 営農部経営課 印刷(株)トリムシステム

火災共済ご加入の皆様へ 建物更生共済がご加入しやすくなりました!

NEW 建物更生共済

むてきプラスのポイント

- 少ない掛金負担で大きな保障**が可能となりました!
- 実損てん補方式**が新登場しました!
加入金額まで損害の額が保障されます!

満期共済金の**最大30倍**まで保障!

※ 所定の条件があります。地震などによる損害を除きます。

むてきプラスと火災共済とでは
保障の範囲がこれだけ異なります!

	火災などのとき 火災・落雷・盗難など	台風などのとき 風災・ひょう災・雷災・水災	地震などのとき 地震・津波	火山の噴火	地震による火災	満期のとき 満期共済金
建物更生共済 むてきプラス	○	○	○	○	○	○
火災共済	○	×	×	×	△	×

※ 地震による損害は対象外

満期共済金があって、この掛金!
さらに、お払込共済掛金は**地震保険料控除**の対象に!

ご契約例^{※2}<住宅保障プラン>

- 住宅物件 (建物)
- 臨時費用共済金の支払割合 30%
- 保障期間 30年 (継続回数 2回)
- 実損てん補特約付
- 協定共済価額 2,000万円
- 当初10年間の掛金
- 口座振替扱い

満期共済金額100万円 火災共済金額 2,000万円

	耐火造A	耐火造B・C (省令準耐火)	木・防火造
月払掛金	5,864円	6,663円	10,041円
年払掛金	67,386円	76,499円	115,437円

ご契約例^{※2}<家財家具保障プラン>

- 住宅物件 (住宅内収容家財)
- 臨時費用共済金の支払割合 30%
- 保障期間 30年 (継続回数 2回)
- 当初10年間の掛金
- 口座振替扱い

満期共済金額50万円 火災共済金額 1,000万円

	耐火造A	耐火造B・C (省令準耐火)	木・防火造
月払掛金	2,966円	3,208円	4,511円
年払掛金	34,143円	36,870円	51,889円

※共済金のお支払いには、それぞれ一定の条件・要件がございます。詳しくはJAまでお問い合わせください。
※この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては、「重要事項説明書 (契約概要)」を必ずご覧ください。また、ご契約の際は、「重要事項説明書 (注意喚起情報)」および「契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。
<17019990015>

お問い合わせは
JA忠類 (01558-8-2311) まで



第七回 理事会

開催日 平成二十九年七月二十七日

報告事項

- ・農作物生育状況並びに生乳生産状況について
- ・特定組合員収支状況報告（六月末）について
- ・簿外管理債権の全額回収について
- ・延滞債権の一部回収について
- ・反社会勢力等との取引排除にかかる顧客属性システム定期確認報告について
- ・総合的なリスク管理における取組状況報告について
- ・全国監査機構による一般監査結果報告について
- ・内部審査結果報告について
- ・組合員異動報告について
- ・職員異動報告について

付議事項

- ※平成二十九年年度生乳計画生産に係る目標数量の設定および個別配分について

産目標数量五万四千三百八十四トン、前年実績比一〇・一・三%で決定。

- 個人枠については、四月に実施した生産者意向調査を基本に配分をいたしました。
- ※資金借入希望者の取扱承認について（利益相反取引）
- 一件の施設投資並びに農地取得に伴う資金借入について、承認されました。
- ※給与規程の改正について
- 学卒者初任給の改正について、原案通り承認されました。
- ※役員視察研修の実施について
- 九月三～六日に実施すること
- で、協議・承認されました。



J A 忠類酪農部会 酪農女性視察研修

J A 忠類酪農部会は、七月十八日に酪農女性視察研修を実施致しました。

本年度は、十七名が参加し、ジェネティクス北海道十勝北見事業所の視察と、とかちしみずフルーツガーデンでさくらんぼ狩りを行いました。

ジェネティクス北海道では、性選別精液の生産についての説明をしていただき、通常精液と選別精液の生産工程の違いや選別精液を使用するメリットについて学びました。



参加者全員で集合写真！さくらんぼ狩りを楽しみました。



沢山の意見や質問が飛び交いました。

また、参加者から担当者の方へ今回の研修に関する質問をはじめ、普段疑問に思っていることなど積極的に質問している姿が多く見受けられ、今後の要望なども伝えていきました。

とかちしみずフルーツガーデンでは、たくさんのさくらんぼの木の中から、赤や黄色の様々な種類のさくらんぼを食べ比べ楽しく会話をしながら過ごしていただきました。今回ご参加頂いた皆様お疲れ様でした。

万一に備えよう わが家の防災

あなたの家の耐震性は大丈夫？

災害危機管理アドバイザー 和田隆昌

人的被害を伴う大きな地震が、北海道から沖縄まで、どの地域でも発生し得る日本列島。

津波が発生する沿岸地域を除き、地震被害の9割近くは家屋内での被害に集中します。逆にいえば、安全な住宅であれば地震被害に遭う可能性は限りなく低くなるということになります。そこで考えなければならぬのが、家屋の耐震性です。



よくいわれるのが「旧耐震家屋といわれる古い家でなければ大丈夫」ということです。確かに1995年の阪神・淡路大震災では、1981年に改正された新耐震基準によって建てられた建物に比べ、それ以前に建てられた建物の被害が顕著

であったことから、旧耐震の木造家屋が、直下型地震に対して極めてもろいことが知られています。しかし、新耐震基準で建てられた建物が倒壊しないということではありません。

昨年の熊本地震では益城町を中心に300棟を超える家屋が倒壊しましたが、旧耐震基準の建物の約30%に当たる225棟が倒壊しました。しかし新耐震基準によって建てられた建物も、約8%に当たる80棟もの家屋が倒壊していたのです。

新耐震建築といっても当初の建築物であれば36年もの年月がたつており、その耐震性は、絶対に安全といえるものではありません。実は2000年に新・新耐震基準と呼ばれる改正が行われ、改正後は必要な壁の配置、柱とりの結合金属などを明確にすることで、より地震に強い家屋の仕様が決まっています。

自宅の耐震性に疑問がある人は保有・賃貸にかかわらず、いま一度その建築年を確かめてはいかがでしょうか。また、旧耐震の建物に関しては自治体での建て替え補償や融資などが行われている場合が多いので、一度、管轄の自治体窓口にご相談してみることをお勧めします。

十勝地区中国人研修生

七月十二日（水）中国人受入農家連絡会は鹿追町農業協同組合会議室で現地研修会を行いました。今回はJITCO安全衛生アドバイザー 佐藤 司氏を講師として招き、講演内容は「新たな外国人技能実習制度」について講演して頂きました。

今回の研修では、新たな技能実習法の要点をはじめ優良な実習実施者の要件、技能実習計画の説明、不正行為に対する実務の流れを学びました。



忠類・広尾・鹿追の3農協の受入農家が研修に参加しました。

お天気カレンダー

気象予報士(株式会社ハレックス) 榎山晴洋

カスリーン台風

1947年9月15日、カスリーン台風は、関東の南の海上から房総半島をかすめて三陸沖まで進みました。関東や東北で大雨による大きな被害が出て、災害の記録に残る台風となりました。この台風襲来から今年で70年になります。

カスリーン台風が接近したときは、勢力は衰えつつありましたが、秋雨前線が停滞しているところへ台風が接近し、湿った空気を送り込んだため前線が活発になりました。台風の動きがそれほど速くなかったことも影響し、雨量が多くなりました。1日の降水量としては、群馬県の前橋や埼玉県秩父では、いまだに観測史上1位の記録になっています。

70年前に比べれば災害に強くなっていると思いますが、これほど記録的豪雨になった場合は今でも大きな災害につながる恐れがあります。自分の身の回りに災害の危険がないかを知り、日頃から備えておくことが大切です。





忠類和牛改良組合活動報告 ～管内視察研修実施～

平成二十九年七月二十四日、忠類和牛改良組合（高橋一男組合長）は管内視察研修を行いました。

十勝農業改良普及センター南部支所飼育普及員にも同行いただき、総勢六名での実施となりました。

本年は、(株)十勝家畜人工授精所とJA帯広大正管内和牛飼養農家を二件視察させていただきました。(株)十勝家畜人工授精所ではJA帯広大正三浦課長にも対応いただき、牧場敷地内を視察しながら牧場の概要や飼養方法について丁寧に説明をいただきました。



(株)十勝家畜人工授精所を視察させていただきました。



JA帯広大正三浦課長から概要説明頂きました。(小森牧場)

昼食時には、(株)十勝家畜人工授精所高森和牛管理次長にもご参加頂きながら和牛飼養管理等について会話を交わすなど、和やかな研修会となりました。
午後からは小森牧場及び柵村牧場を視察させていただきました。よい素牛を育てるために気をつけていることや、環境を清潔に保つための留意点など興味深いお話を聞かせていただきました。
お忙しい中、今回の視察研修に協力頂きました(株)十勝家畜人工授精所高森和牛管理次長、JA帯広大正三浦課長、小森さん柵村さんには大変お世話になりました。

JA忠類畑作協議会管外視察研修会開催！

平成二十九年七月一九日～二十日の日程でJA忠類畑作協議会（芹沢勇治会長）は管外視察研修会（出席人数十一名）を実施致しました。

本年度の視察研修先は、(株)中セキ北海道本社（岩見沢市）、ノースファームストック（岩見沢市）、(株)Jファーム苦小牧工場（苦小牧市）、の行程で開催致しました。

「(株)中セキ北海道本社」では駒形技術推進部長より会社の概要や排ガス規制の説明を受けました。会社の1階フロアがショールームになっており、自動操舵システム搭載のトラクターやホイールローダーの展示があり、参加者は試乗などを行いました。また、普段はあまり目にするのではない田植機にも興味を示しておりました。
「ノースファームストック」は、北海道の素材にこだわったジャムやソースなどの農産加工



(株)中セキ北海道本社前にて



(株)中セキ北海道本社にて

平成二十九年産小麦収穫作業終了！

平成二十九年秋播き小麦の収穫作業が八月二日より開始され、八月五日に全ての収穫作業が終了しました。

今年の秋播き小麦の作付け面積は八戸の農家で約七十二町となっており、昨年は天候不良や低温・長雨による収穫作業の遅れがありました。今年も予定通りの収穫作業となりました。

収穫期間の四日間にはほぼ曇り空での作業となりましたが大きな機械の故障も事故もなく、組合員は無事小麦の収穫を終わらせることができました。



昨年の十一月の降雪により防除の遅れによって生育状況の心配がありました。過去最高の平成二十七年を上回る平均収量となりました。

収穫期間中の八月二日には、飯田幕別町長が激励に来て下さり、連日作業を行う組合員や担当職員に労いの言葉を掛けて下さいました。また、山下史祥さんがドローンを使った圃場管理を試行しており、とても興味深い内容で収穫時に立ち会った方々は興味津々でした。

食品を製造・販売しており、お土産等のショッピングを楽しんでおりました。

二日目の「(株)Jファーム苦小牧工場」では、若松参事・広報部の竹島さんより、敷地内の施設紹介やエネルギー利用技術の説明をして頂きました。こちらの施設では一ヘクタールのペーパリーフ栽培棟・O・五ヘクタールのトマト栽培棟の他に一ヘクタールのトマト・多品種栽培棟があり、それぞれの施設を見学させて頂きました。スマートアグリシステムを採用しており、コントロールルームで温室内の環境（温度・湿度・日射量・二酸化炭素・肥料など）を制御し、植物の生育に最適な栽培環境を作り出しています。また、グループ会社であるJFEエンジニアリングのガスエンジン・トリジェネレーションシステムやバイオマス燃焼ガス浄化システムを導入することで様々なエネルギー利用の最適化を図り、省エネで環境負荷を軽減した栽培を行っています。



(株)Jファーム苦小牧工場のペーパリーフ栽培棟



(株)Jファーム苦小牧工場プレゼンルームで説明を受ける



平成二十九年 搾乳牛放牧技術研修会開催!

七月二十八日(金)に忠類コミュニティセンター大ホールにて搾乳牛放牧技術研修会が開催されました。

当日は全国各地の放牧酪農家をはじめとした各関係機関約八十名が参加しました。

開催にあたり多田組合長より挨拶が行われ研修会が始まりました。

まず初めに日本草地畜産種子協会放牧アドバイザー須藤純一氏による「放牧酪農の経済的有利性等」と題として放牧の有利性と留意点について講演が行われ



放牧の有利性については、自給飼料率の向上による「購入飼料費の軽減」、家族労働の軽減・省力化による「ゆとりの確保」、乳牛疾病の軽減による「供用年数の延長」、育成牛保有の減少、初妊牛販売の増加による「収益拡大」等があげられました。

一方、放牧の留意点としては、MUNのチェック等による「放牧期の栄養管理」、ミネラルバランスを考えた「肥培管理」、放牧採食量や授精兆候、



疾病予防等の「乳牛群管理と観察」、足腰や乳器付着等「放牧適正への牛つくり」があげられました。

次に北海道農業研究センター大規模家畜管理グループ長 須藤 賢司氏より「放牧導入に当たっての飼養管理・草地管理等の注意点」について講演が行われました。

講演の中では、所有圃場面積と放牧方式の関係や乳量水準と放牧飼養方式との関係等放牧導入の条件からはじまり、放牧管理上の注意点や放牧施設の紹介、圃場飼料の考え方、放牧用草種等を中心に説明がありました。



分娩後のエネルギー不足牛の摘発とその対処について

十勝農業改良普及センター十勝南部支所

分娩後の乳牛は生乳を生産するためのエネルギーを採食した飼料からのみで補うことができず、全ての牛において多少の差はあるもののエネルギー不足の状態に陥っています。

そのため、自分の体脂肪を動員し、エネルギーの取支を合わせようとして、エネルギー不足の程度が激しいと体脂肪が過剰に動員され、その際にケトン体が産生されます。ケトン体そのものが、エネルギー源としても使われますが、過剰に産生されるとエネルギーへの変換が追いつかず、体内にたまってしまいます。たまってきたケトン体により、元気が消失、食欲減退が起きます。この状態はケトosisと呼びられています。

ケトosisは臨床性と潜在性にわけられ、最近では、はっきりとした症状がないまま、見過ごされやすい潜在性ケトosisを早期に発見し、対処することがより高い生産性を実現

できるとして現場で実践している農場をみかけます。その一部をご紹介します。

潜在性ケトosis牛をチェックする方法

①サンケトペーパーによる乳汁中のケトン体測定



写真1 サンケトペーパー (販売元 日本全業工業株式会社)

分娩後の牛の乳汁に試験紙(写真1)を3秒間浸し、乳滴をはらって、1分経過後の色調を断します。

ケトン体が100μmol下なら試験紙の色調は変わらず200μmol以上なら試験紙が紫色変色します。

②乳検データ 分娩後初回の脂肪が5%以上の牛をチェック

分娩後、初めての乳検デー(分娩後7~30日)で乳脂肪が高い場合、エネルギー不足より体脂肪が過剰に動員されていると推測され、このようなは乳汁中のケトン体も高くなっていることが予想されます。

③乳検データ乳中ケトン体チェック

乳中ケトン体が0.13mmol/L以上の牛を確認します。今年度から乳検情報で個体ごとの乳汁のケトン体数値でわかるようになりました。前述の乳脂肪と合わせて確認していきましょう(写真2)。

①③OKHONDで潜在性ケトosis疑わぬ場合の対処

・飼料用グリセリンなどの速やかにエネルギーになる資材の投与を5日間程度継続します。

・糖蜜資材の投与も症状を緩和させる効果があります。

分娩時(乾乳期)に過肥の牛、後産停滞牛は、分娩後、採食量が落ちやすいので特に注意してチェック、

群別	品種	乳量		乳脂肪率		MUN		乳糖		無脂固形		体細胞数	
		今月	前月差	%	%	mg/dl	mg/dl	%	%	×1000/ml	×1000/ml		
S4	1	29.3	-11.2	2.92	18	13.4	4.81	8.53	115				
S4	1	37.2	2.6	2.98	10	6.7	4.61	8.59	21				
S4	1	36.6	0.6	3.07	15	14.1	4.58	8.05	25				
S4	1	31.4	-5.4	2.88	84	9.2	4.81	8.49	538				
S4	1	34.6	-2.4	2.72	82	12.2	4.62	8.34	7				
S4	1	22.4		3.51	57	11.3	4.45	8.96	10				
S4	1	34.2		2.87	69	6.9	4.53	8.40	2				
S4	1	29.1	-9.1	2.89	84	13.9	4.62	8.51	7				
S4	1	22.4		3.10	83	14.0	4.64	8.74					
S4	1	29.4		2.85	114	7.8	4.59	8.44					
S4	1	28.8	3.2	2.59	81	8.8	4.83	8.22					
S4	1	26.4	-1.1	3.14	79	9.1	4.78	8.90					
S4	1	26.4	-7.2	3.41	82	10.8	4.56	8.17					

写真2 乳検 個体別診断情報よりチェック項目の乳脂肪率、ケトン体

対処しておきましょう。予防策として分娩前後にバイпасコリン、バイパスメチオニンなど体脂肪動員時に肝臓に蓄積してしまう脂肪の代謝を促進する資材を投与するのも、良い方法の一つです。



お天気カレンダー

関東地方など、秋にニンジン収穫する所は、8月ごろに種まきをするということですが、種まき直後の小さい苗の間に、大雨が降り、畑が水浸しになってしまつと、苗が駄目になり、ニンジンの収穫量が減ってしまうことがあります。

この時期は、台風シーズンでもあり、8月後半になると秋雨前線が停滞することも少なくありません。台風周辺の湿った空気が前線に向かって流れ込むと大雨になりやすいパターンです。

非常に湿った空気が流れ込み、大気の状態が非常に不安定なとき、気象衛星からの雲の様子を見ると、やや細長い三角形をした雲が見られることがあります。その形がニンジンに似ていることから、ニンジン状の雲と呼ばれます。この雲の下では、非常に激しい雨が降り、大雨災害の危険があります。気象衛星の雲画像で「ニンジン」を見つけたら、大雨に警戒が必要です。





JA GROUP TSUUSHIN

JAグループ通信

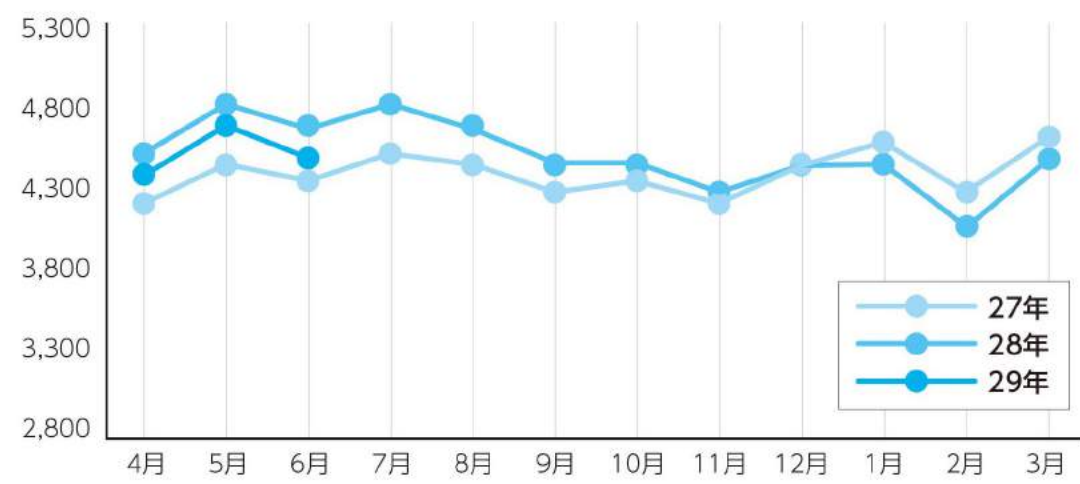
JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。
JA北海道大会決議事項の実践やその時々
のトピックスなど、組合員の皆様に定期的
にお伝えします。
各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイ
トをご覧ください。

JA北海道中央会

6月11日に全道3会場（JAさつぽろ、JA帯広かわにし、JAしべちや）にて「みんなのよい食JA親善大使」を開催しました。
この取組みは、北海道コンサドーレ札幌の選手がJA親善大使として、子どもたちと共に「よい食」とは何かを考え、食の大切さや地域の農業の役割を再認識してもらうものです。合計約200人の子どもが参加し、特に自分たちで調べて問題を考えた「北海道の食と農に関するクイズコーナー」は各会場大盛り上がり。農業への理解・関心を深めてもらうことができました。



生乳生産状況表



ホクレン十勝家畜市場だより

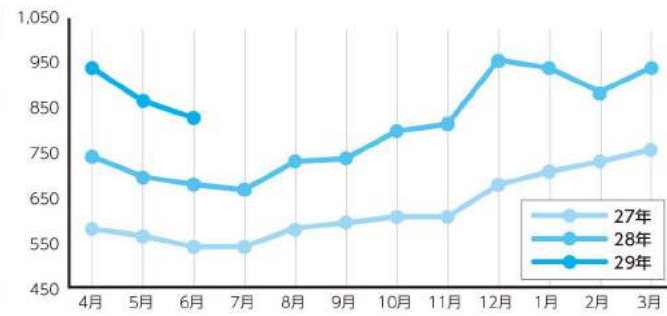
乳牛

- 売買頭数：308頭 (成立67.8%)
- 平均価格 (税込)：839千円 (先月比32↓、前年比157↑)

相場予想

先月の平均価格は、夏分娩牛の上場が中心となり、購買意欲が低くなったため弱含みで推移しました。今月は、上場頭数が増加し、夏分娩中心の市場であるものの、購買意欲は高く、平均価格は横ばい、または弱含みで推移すると考えられます。

乳牛市場〈初妊牛〉平均価格の推移

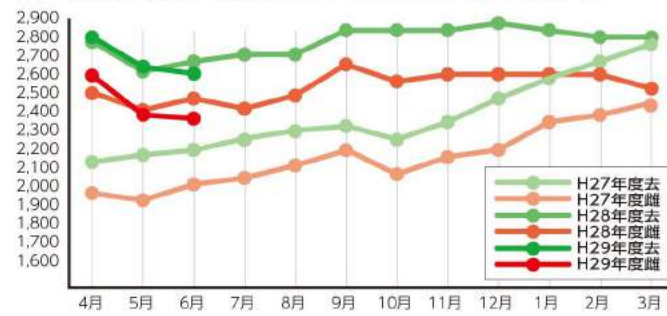


黒毛和種・F1

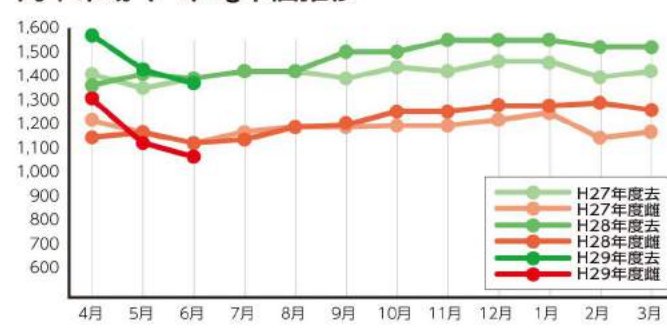
結果速報

- 売買頭数
 - 黒毛和種去勢 944頭 (成立93.3%)
 - 乳用交雑種去勢 1,140頭 (成立91.3%)
 - 黒毛和種雌 693頭 (成立93.4%)
 - 乳用交雑種雌 1,542頭 (成立93.8%)
- kg単価
 - 黒毛和種去勢 2,615円 (先月比19↓)
 - 乳用交雑種去勢 1,364円 (先月比56↓)
 - 黒毛和種雌 2,371円 (先月比20↓)
 - 乳用交雑種雌 1,110円 (先月比43↓)

肉牛市場〈黒毛和種251-300kg〉kg単価推移



肉牛市場〈F1〉kg単価推移



JA北海道信連

6月に、札幌駅前通地下歩行空間でJAバンクのPRイベントを行いました。当日は、「ドローン野キャンペン」のPRや若手女性農業者集団「Link's」の内山佳奈さんによるトークショー、「ちよりス」グッズの当たる「クイズ大会」等を実施しました。また、「ローン相談コーナー」の設置やSNSに「ちよりス」の写真を投稿した方へ記念品を配布する等、JAバンクを広くPRできました。



ホクレン

ホクレンでは、今後の営農の参考にしていただくため、地域に応じたスマート農業技術の紹介に取り組んでおります。7月1日に開催した上川地区のフェアでは、圃場水管理、ハウス関連機器、アシストスーツ、センシング関連、ドローン、GPS自動操舵の6分野で新技術の紹介やセミナーを実施し大勢の生産者や関係者に来場いただきました。今後も、スマート農業の普及に向けて情報発信に努めます。



JA共済連北海道

組合員・利用者の皆さまへ事業概要や支払規模、経営の健全性を紹介する資料として、平成28年度の事業概要をまとめたリーフレット「JA共済 安心めっせーじ」を発行しました。「ひと・いえ・くるま」の主な保障の保有実績や共済金支払実績、経営状況や地域貢献活動への取り組みなどをわかりやすく説明しています。今後も、皆さまに安心してご利用していただくため、情報をお届けして参ります。



JA北海道厚生連

この度、北海道厚生連はホームページをリニューアルいたしました。より快適にホームページを使っていただけけるよう情報を整理し、分かりやすく見やすいレイアウトにしました。またスマートフォンやタブレットからの閲覧もしやすくなっております。今後もよりいっそう充実したホームページにしていきたいですので、引き続きよろしくお申し込み申し上げます。

